

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年5月23日(2024.5.23)

【公開番号】特開2022-187714(P2022-187714A)

【公開日】令和4年12月20日(2022.12.20)

【年通号数】公開公報(特許)2022-234

【出願番号】特願2021-95857(P2021-95857)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 5 1

A 6 3 F 5/04 6 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月15日(2024.5.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の当選種別のいずれかを当選種別抽選により決定する当選種別抽選手段と、

スタートスイッチの操作に基づき、複数種類の図柄がそれぞれ配列された複数のリールを回転制御し、回転している前記リールに対応するストップスイッチの操作に応じ、操作された前記ストップスイッチに対応する前記リールをそれぞれ停止制御するリール制御手段と、

所定の当選役の入賞を補助する補助演出を実行する補助演出実行手段と、

前記補助演出が可能な有利区間と、前記補助演出が不可能な非有利区間とのいずれかを決定する演出状態制御手段と、

30

当選役の入賞を判定する判定手段と、

入賞した小役に対応する遊技価値を払い出す払出制御手段と、

を備え、

前記複数のリールには、第1リール、第2リール、および、第3リールが含まれ、

前記複数種類の当選種別には、複数種類の小役が重複して当選し、正解操作態様による操作が所定の小役の入賞条件として設定された複数種類の選択当選種別を含み、

前記第2リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる選択当選種別と、前記第3リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる選択当選種別とは存在するが、前記第1リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる選択当選種別は存在せず、

40

前記リール制御手段は、前記当選種別抽選で前記選択当選種別が決定された遊技において

前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様で停止操作が行われた場合、1遊技に対してベットされる遊技価値よりも多数の遊技価値が払い出される小役が入賞するように回転している前記リールを停止させる制御を行い、

前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様とは異なる操作態様である失敗操作態様のうち、前記第1リールを最初に停止させる第1の失敗操作態様で停止操作が行われた場合、1遊技に対してベットされる遊技価値よりも少数の遊技価値が払い出される小役が必ず入賞するように回転している前記リールを停止させる制御を行い、

50

前記失敗操作態様のうち、前記第2リールまたは前記第3リールを最初に停止させる第2の失敗操作態様で停止操作が行われた場合、停止操作のタイミングに応じて、1遊技に対してベットされる遊技価値よりも少數の遊技価値が払い出される小役が入賞する場合といずれの役も入賞しない場合とが存在するように、回転している前記リールを停止させる制御を行い、

前記選択当選種別は、前記非有利区間から前記有利区間に移行させる抽選を行うことが可能であり、

前記演出状態制御手段は、ベットに係る遊技価値と獲得に係る遊技価値との差である差枚数が、前記有利区間に於いて獲得可能な数と異なる特定値以上であれば、前記有利区間の終了に係る処理を実行する遊技機。

10

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、遊技機は、複数種類の当選種別のいずれかを当選種別抽選により決定する当選種別抽選手段と、スタートスイッチの操作に基づき、複数種類の図柄がそれぞれ配列された複数のリールを回転制御し、回転している前記リールに対応するストップスイッチの操作に応じ、操作された前記ストップスイッチに対応する前記リールをそれぞれ停止制御するリール制御手段と、所定の当選役の入賞を補助する補助演出を実行する補助演出実行手段と、前記補助演出が可能な有利区間と、前記補助演出が不可能な非有利区間とのいずれかを決定する演出状態制御手段と、当選役の入賞を判定する判定手段と、入賞した小役に対応する遊技価値を払い出す払出制御手段と、を備え、前記複数のリールには、第1リール、第2リール、および、第3リールが含まれ、前記複数種類の当選種別には、複数種類の小役が重複して当選し、正解操作態様による操作が所定の小役の入賞条件として設定された複数種類の選択当選種別（例えば、図41における当選種別「打順ベル1」～「打順ベル18」）を含み、前記第2リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる選択当選種別（例えば、図41における当選種別「打順ベル1」～「打順ベル6」）と、前記第3リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる選択当選種別（例えば、図41における当選種別「打順ベル7」～「打順ベル12」）とは存在するが、前記第1リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる選択当選種別は存在せず、前記リール制御手段は、前記当選種別抽選で前記選択当選種別が決定された遊技において、前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様で停止操作が行われた場合、1遊技に対してベットされる遊技価値（例えば、メダル3枚）よりも多数の遊技価値（例えば、メダル15枚）が払い出される小役が入賞するように回転している前記リールを停止させる制御を行い、前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様とは異なる操作態様である失敗操作態様のうち、前記第1リールを最初に停止させる第1の失敗操作態様で停止操作が行われた場合、1遊技に対してベットされる遊技価値よりも少數の遊技価値（例えば、メダル1枚）が払い出される小役が必ず入賞するように回転している前記リールを停止させる制御を行い、前記失敗操作態様のうち、前記第2リールまたは前記第3リールを最初に停止させる第2の失敗操作態様で停止操作が行われた場合、停止操作のタイミングに応じて、1遊技に対してベットされる遊技価値よりも少數の遊技価値（例えば、メダル1枚）が払い出される小役が入賞する場合と/orいずれの役も入賞しない場合とが存在するように、回転している前記リールを停止させる制御を行い、前記選択当選種別（例えば、有利区間抽選可当選種別）は、前記非有利区間から前記有利区間に移行させる抽選を行うことが可能であり、前記演出状態制御手段は、ベットに係る遊技価値（例えば、ベット枚数）と獲得に係る遊技価値（例えば、払出枚数）との差である差枚数が、前記有利区間に於いて獲得可能な数（例えば、メダル2400枚）と異なる特定値（例えば、メダル400枚）以上であれば（例えば、図29におけるステップS281-9

20

30

40

50

)、前記有利区間の終了に係る処理(例えば、図29におけるステップS281-15)を実行する。

10

20

30

40

50